

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年1月

事業所名 一宮市はとぼっぼ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	5	コロナ感染症の為、ソーシャルディスタンスをとって療育している	人数が増えた場合には、人数の調整も必要が出てくるが、場所の使い方を工夫しながら療育をします。
	2	職員の配置数は適切である	7	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2		それぞれの障害特性に合わせた対応をしています。本人（親子）にもわかりやすい環境がより一層工夫できるか検討します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	1	必要に応じその都度消毒し、毎日療育終了後消毒を実施しています。	建物の老朽化しており、子のトイレの設備が古いので改修されるといいが、トイレの環境も明るく清潔な空間にしています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	0	毎日、振り返りの時間の中で行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0		職員間での保護者の意向等確認把握し、改善に努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2		定期的に研修会を実施し、第三者による評価を業務改善に努めています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	研修先を個人に合わせて、かえながら機会を確保しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	4		参考になるアセスメントツールはあるが、使いこなせていない部分もあるので、今後改善し、使えるようにしていきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	4		家族支援において施設全体の認識を高めていけるよう努め、研修等を行うことを継続し、具体的な支援計画にも活かしていきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	1	毎日の振り返りで確認し、見直しも行っていきます。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	計画もあるが、子どもの姿に合わせた活動を取り入れています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	7	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0		
20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	2		親子通園の為、保護者からの確認、聞き取りをしていますが、必要な時には連携し支援をしていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	4		一部の医療機関従事者とは連携しているが、全員の方の医療機関と連携ができてるわけではない。保護者からの確認、聞き取りを密に行っています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2		幼稚園は、定期的に連絡を取り、情報共有や相互理解を図っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	4		移行先が小学校、特別支援学校の小学部ではないです。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	研修は積極的に参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	5		必要な方には、園庭開放を紹介したり、きょうだいの参加の機会を作っているが、現在は、コロナの為難しいです。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	6		自立支援協議会、子ども部会には参加依頼がない
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	親子通園の為、日頃から伝え合うようにしています。また、連絡ノートの活用しています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	2		定期的に母親勉強会を実施しています。主旨を伝え、参加を促していきます。コロナの為、実施できない時もあったが、今後の状況を見て実施していきます。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	親子通園の為、定期的、日常でも時間を作り対応しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1	参加の促しや活動の支援してます。先輩の保護者とのつながりも支援しています。	父母の会の活動は、コロナの為、中止になりましたが、今後の状況を見て実施予定です。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	毎月とはほぼ定期的の配布や掲示、口頭で発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6		地域の住民との関わりが難しい。それに該当する事業は現在行われていないです。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1	毎月様々な想定を設定し訓練を実施しています。感染症については周囲の状況を収集し、保護者に対して周知・説明をしています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	様々な想定を設定して訓練の実施しています。避難袋（防災用品）を保管しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	1	契約時やモニタリング時、日常でも保護者からの聞き取りを行っています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	4	契約時やモニタリング時、日常でも保護者からの聞き取り確認しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	振り返りの時間の中で確認し、今後に活かしています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	3		職員研修実施予定、外部の研修も積極的に参加をしていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	3	児童発達支援計画には記載してないが、保護者に普段から説明し、ヘルト等は保護者に止めてもらうようにしています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。